

起業論・アントレプレナーシップ講座

8月21日(月)・22日(火)に、1～3年の生徒を対象に、佐々木敦斗氏(東京大学を卒業し、朝日新聞の記者、リクルート社員を経て教材開発会社を起業)を迎えて、「起業論・アントレプレナーシップ講座」を実施いたしました。

アントレプレナーシップ、とくに起業家精神を学ぶことは、現代社会における教育に重要なテーマです。

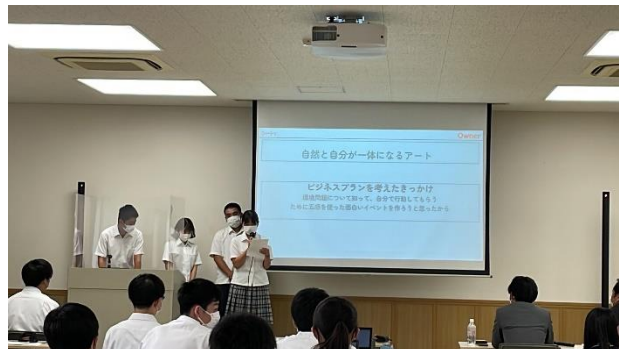
1日目は、オリエンテーションと起業家ケーススタディ、2名の起業家(株式会社ライフブリッジ 代表取締役 櫻井亮太郎氏、株式会社 SETUPJAPAN 代表 佐山輝氏)をお迎えしての講話。「起業家として成功するカギは人脈作りであり、相手が興味を持っていることに興味を持つことが大切。運を引き寄せる力を身につける必要性」等についてお話をいただきました。その後、参加生徒たちは、グループに分かれて起業プランを考えるワークショップを実施しました。



2日目は、グループごとにビジネスプランを作成し、Google スライドを使って発表会を行いました。リクルート北関東マーケティングから石川英章氏と竹村遼氏の2名をお迎えして、講評をいただきました。

「自然と自分が一体になるアート」のビジネスプランを発表したチームが最優秀賞に輝きました。

審査員から、「すべてのチームが高校生ならではのビジネスプランであり、非常に興味深いものがありました。この経験を今後の勉強に活かしてほしい。」と、お話をいただきました。



参加した生徒からは「起業ということを知ることができてよかった。」

「起業家の方々から色々なお話を聞くことができ、グループでのプレゼンテーションなど、今までにないとても貴重な経験ができ、とても楽しかった。」

「起業のプランを考えるのは楽しかった。」

「起業の話聞いて沢山の人の関わりやたくさんの経験が積み重ねで成り立つものだと分かった。」

以上のような感想が聞かれ、将来考えるよいきっかけとなったようです。